

《主な試験の流れ》 排出ガス試験(2輪、4輪)

目次

2ページ・・・ 2輪車WMTCモード(クラス3-2)試験の流れ

3ページ・・・ 2輪車モード試験の流れ(平成19年規制)

4ページ・・・ JC08M(ガソリン車)試験の流れ

5ページ・・・ シャシダイナモによるJE05M(ガソリン車)試験の流れ

6ページ・・・ 10・15モード+JC08Cモード(ガソリン車)試験の流れ

7ページ・・・ 10・15モード+11モード(ガソリン車)試験の流れ
(平成17年規制)

8ページ・・・ 10・15モード / 11モード(ガソリン車)試験の流れ
(平成12年規制以前の規制)

9ページ・・・ シャシダイナモによるディーゼル13モード試験の流れ

事前準備

- 試験自動車諸元表、試験依頼書及び通関証明書または車検証をご用意してお電話下さい
- 依頼書等必要書類は当協会ホームページよりダウンロード出来ます

書類確認

- 試験当日ご用意頂いた書類をお持ちになって事務棟2階の受付にお越し下さい

車両確認

- ご提出頂いた試験自動車諸元表と試験車両の同一性を確認します(10分程度)
- 改造等で写真証明をご希望の場合は更に20~30分程度頂きます(写真代は別途)

車両設置

- 車両のフロントタイヤを固定しシャシダイナモへ設置後、排出ガス採取用プローブの接続準備をします

負荷設定

- 試験自動車諸元表の車両重量から算出した路上走行時の走行抵抗に合わせます

PC走行

- 事前走行としてWMTCモードを走行します(下図参照)
- ※PC(Preconditioning)

※

車両保管

- WMTC本試験の準備として25°C±5°Cの室内で保管します

WMTCモード

- WMTCモードの排出ガスを測定後、アイドリング試験を実施し終了となります
- モード走行全体の排出ガスを採取し、演算後測定結果が出ます

試験終了

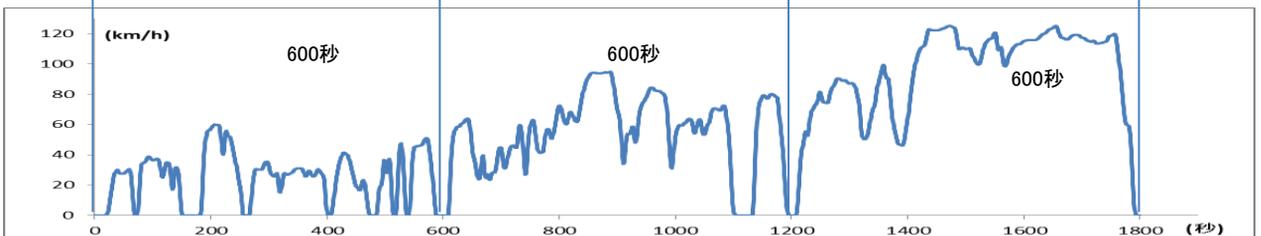
- 試験合格後約1.5~2時間程度で排出ガス成績表を発行出来ます
- (昭島研究室、本部事務局共にお受取りが可能です)
- 成績表は宅急便着払いでのお届けも可能です(1~2日程度かかります)

1日目

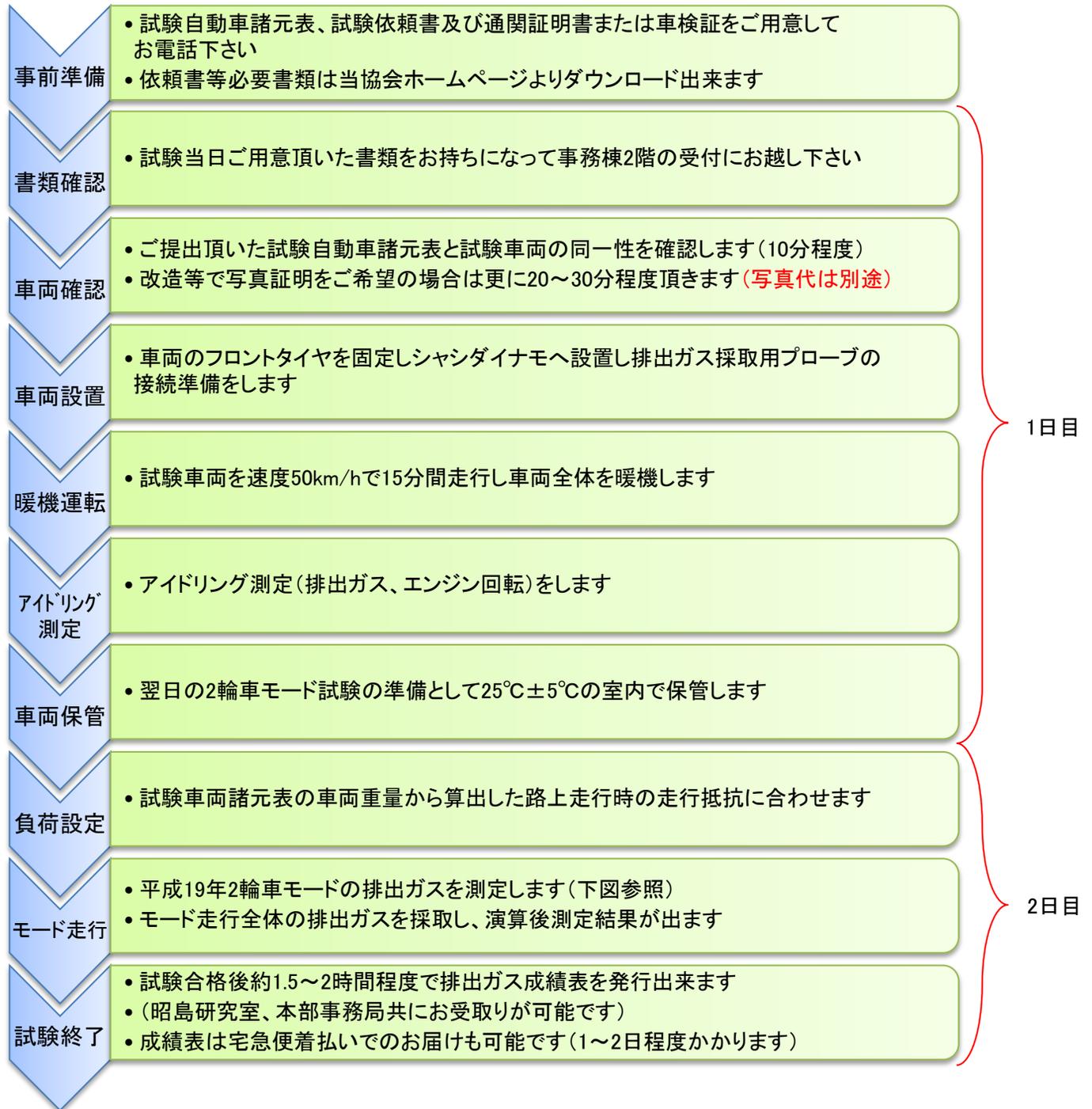
2日目

WMTC クラス3-2 (約30km走行)

フェーズ1(約4km走行) フェーズ2(約9km走行) フェーズ3(約16km走行)

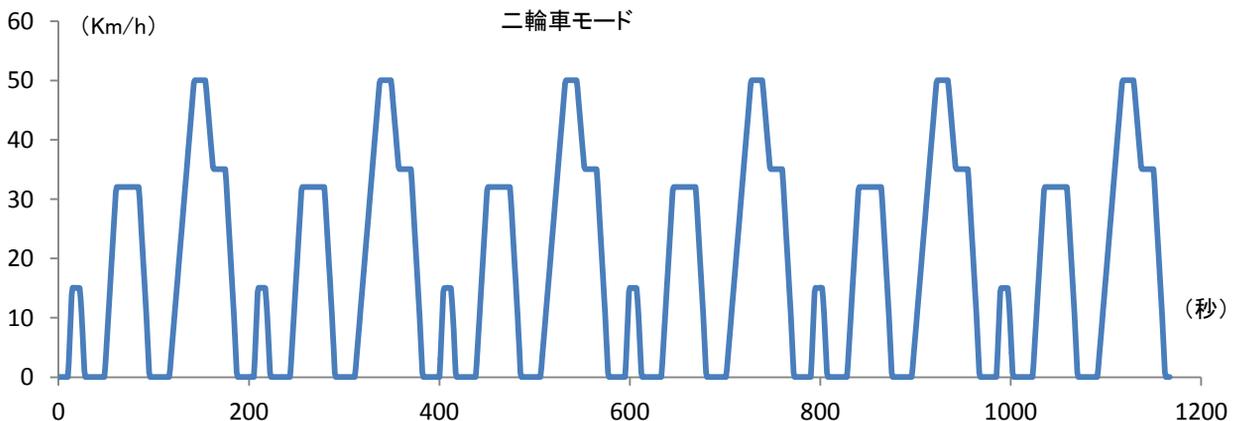


• 作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(2日間で60km以上走行します)

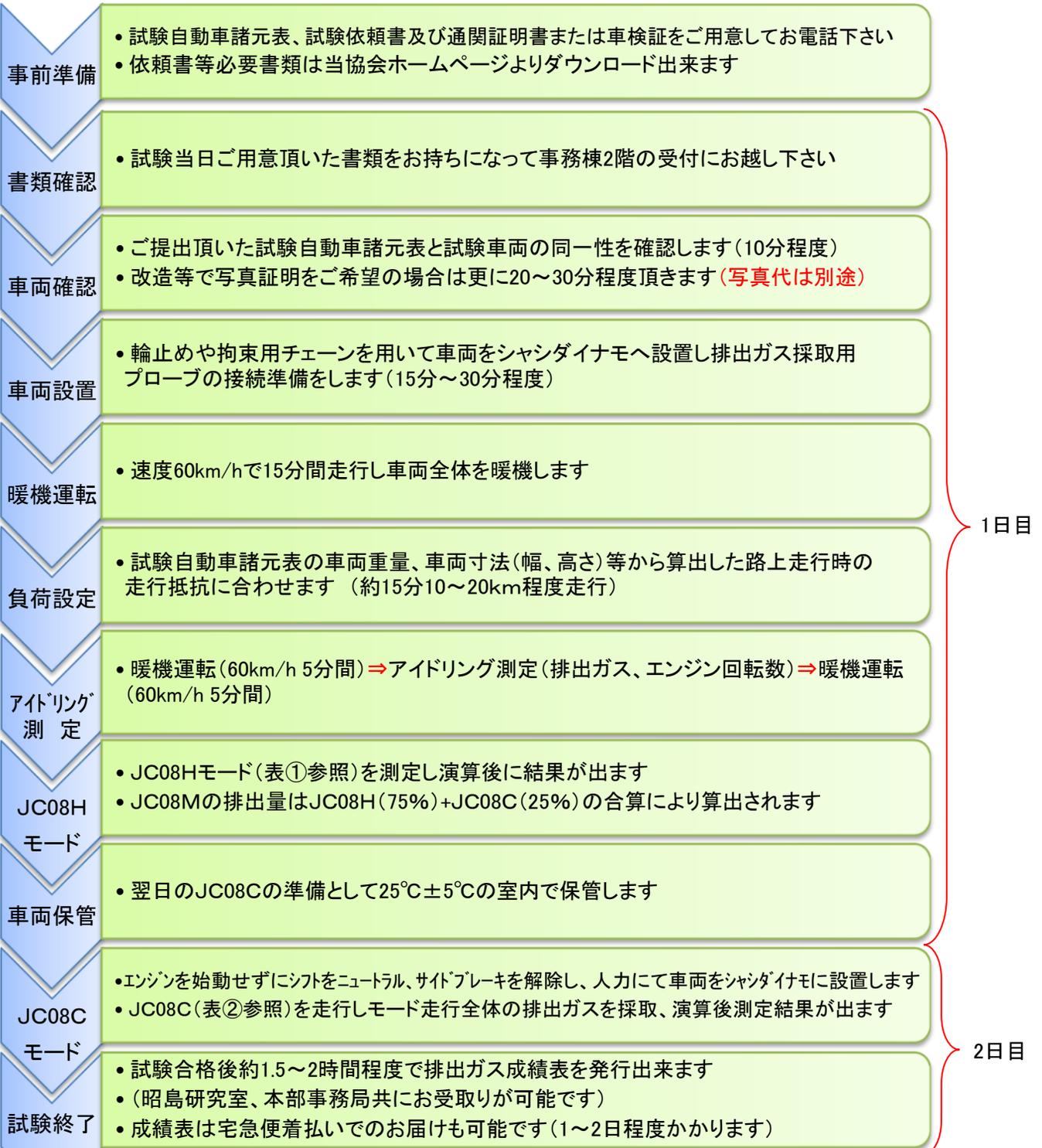


1日目

2日目

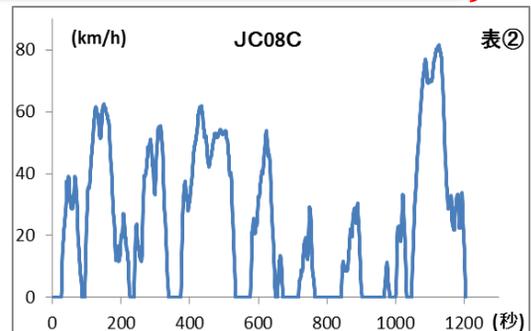
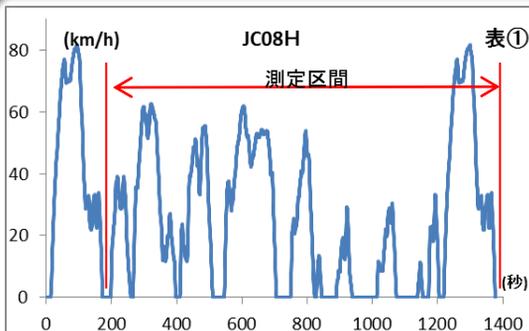


・作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(2日間で20km以上走行します)

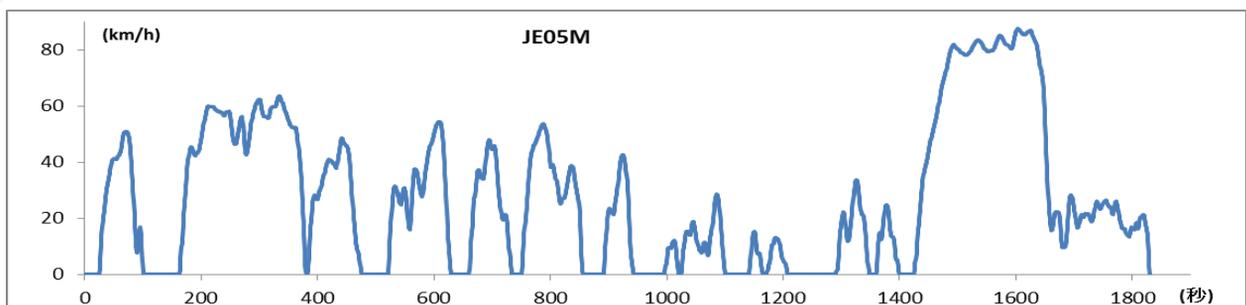


1日目

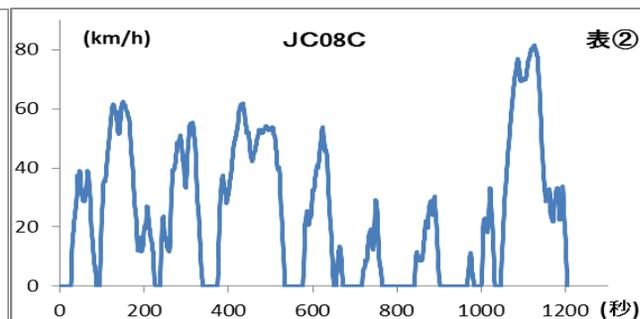
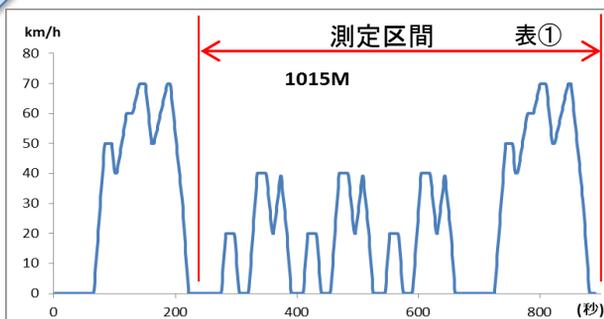
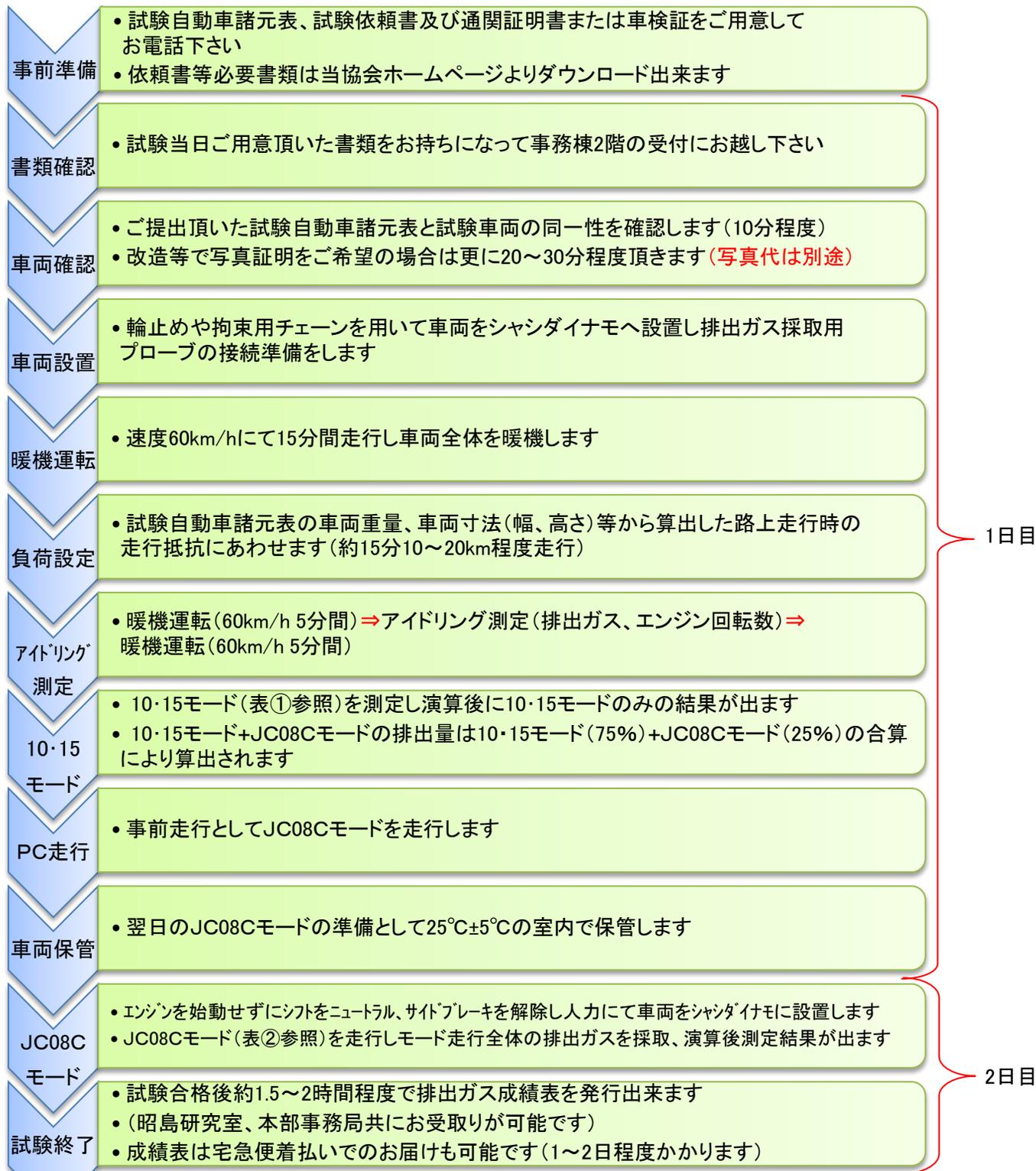
2日目



・作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(2日間で60km以上走行します)



・作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(走行距離は1回の試験で80km以上走行します)



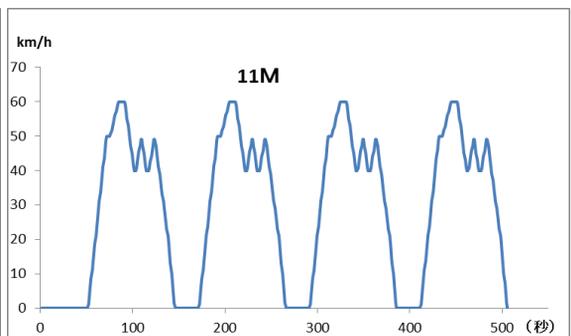
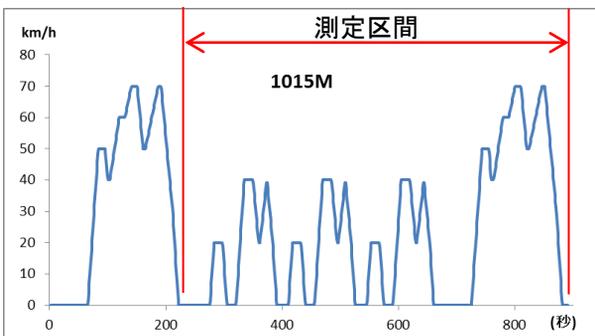
・作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(2日間で65km以上走行します)

《4輪》 10・15モード+11モード(ガソリン車)試験の流れ(平成17年規制)

事前準備	<ul style="list-style-type: none"> 試験自動車諸元表、試験依頼書及び通関証明書または車検証をご用意してお電話下さい 依頼書等必要書類は当協会ホームページよりダウンロード出来ます
書類確認	<ul style="list-style-type: none"> 試験当日ご用意頂いた書類をお持ちになって事務棟2階の受付にお越し下さい
車両確認	<ul style="list-style-type: none"> ご提出頂いた試験自動車諸元表と試験車両の同一性を確認します(10分程度) 改造等で写真証明をご希望の場合は更に20~30分程度頂きます(写真代は別途)
車両設置	<ul style="list-style-type: none"> 輪止めや拘束用チェーンを用いて車両をシャンダイナモへ設置し排出ガス採取用プローブの接続準備をします
暖機運転	<ul style="list-style-type: none"> 速度60km/hで15分間走行し車両全体を暖機します
負荷設定	<ul style="list-style-type: none"> 試験自動車諸元表の車両重量、車両寸法(幅、高さ)等から算出した路上走行時の走行抵抗にあわせて(約15分10~20km程度走行)
アイドリング測定	<ul style="list-style-type: none"> 暖機運転(60km/h 5分間) ⇒ アイドリング測定(排出ガス、エンジン回転数) ⇒ 暖機運転(60km/h 5分間)
10・15モード	<ul style="list-style-type: none"> 10・15モード(表①参照)を測定し演算後に10・15モードのみの結果が出ます 10・15モード+11モードの排出量は10・15モード(88%)+11モード(12%)の合算により算出されます
暖機運転	<ul style="list-style-type: none"> 速度60km/hにて15分間走行し車両全体を暖機します
車両保管	<ul style="list-style-type: none"> 翌日の11モードの準備として25℃±5℃の室内で保管します
11モード	<ul style="list-style-type: none"> エンジンを始動せずにシフトをニュートラル、サイドブレーキを解除し、人力にて車両をシャンダイナモに設置します 11モード(表②参照)を走行しモード走行全体の排出ガスを採取、演算後測定結果が出ます
試験終了	<ul style="list-style-type: none"> 試験合格後約1.5~2時間程度で排出ガス成績表を発行出来ます (昭島研究室、本部事務局共にお受取りが可能です) 成績表は宅急便着払いでのお届けも可能です(1~2日程度かかります)

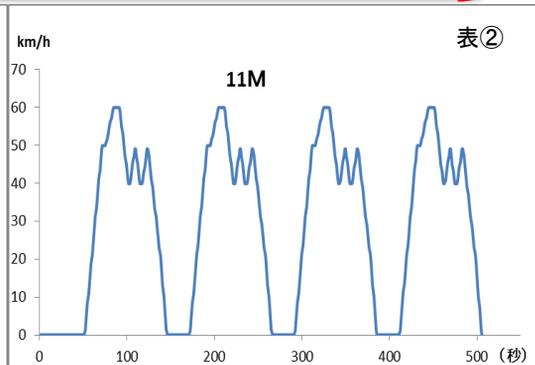
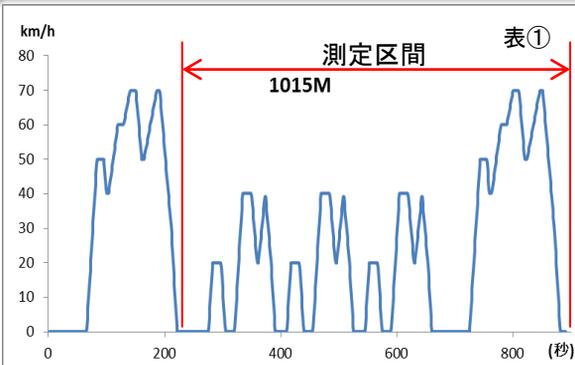
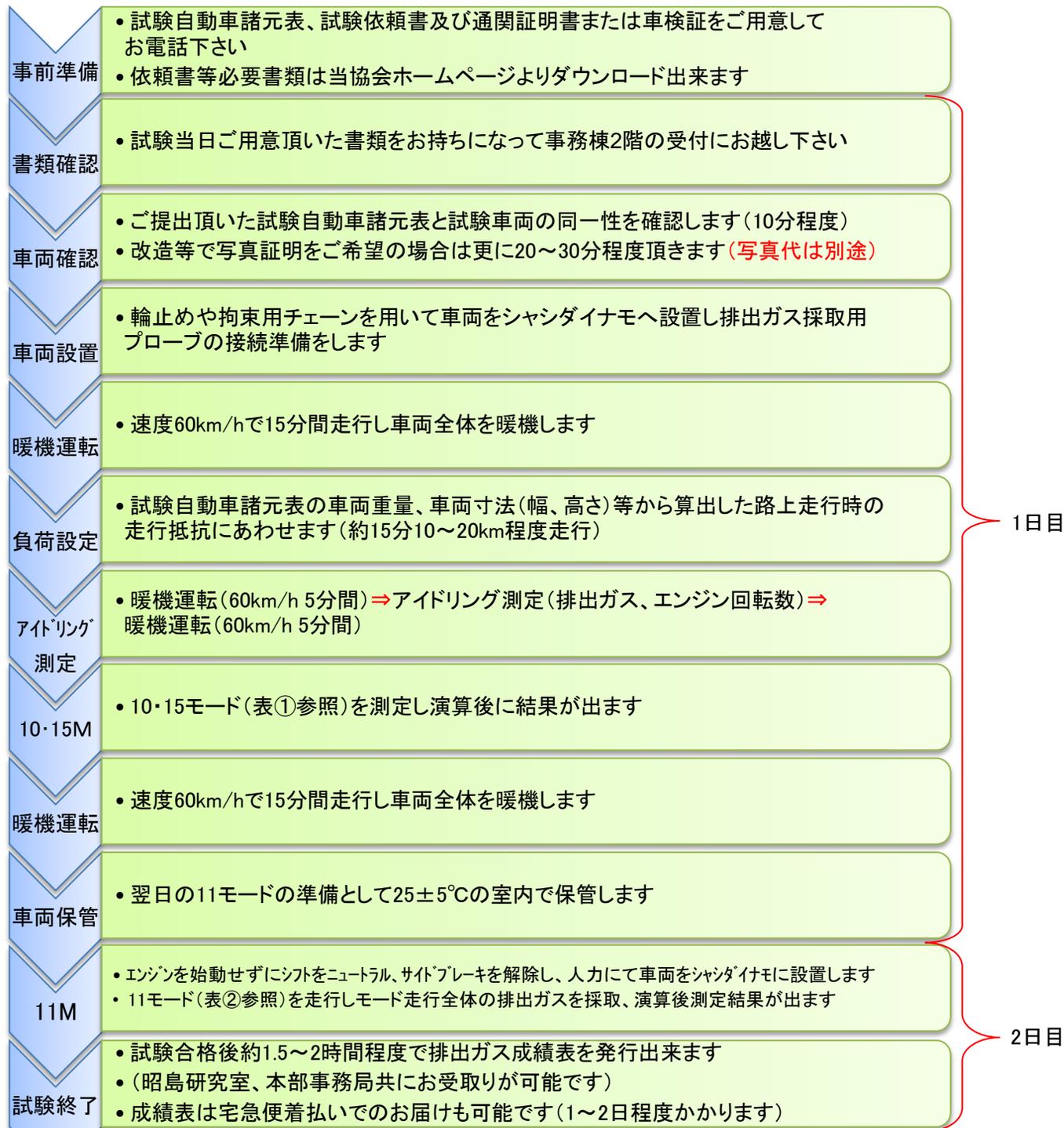
1日目

2日目

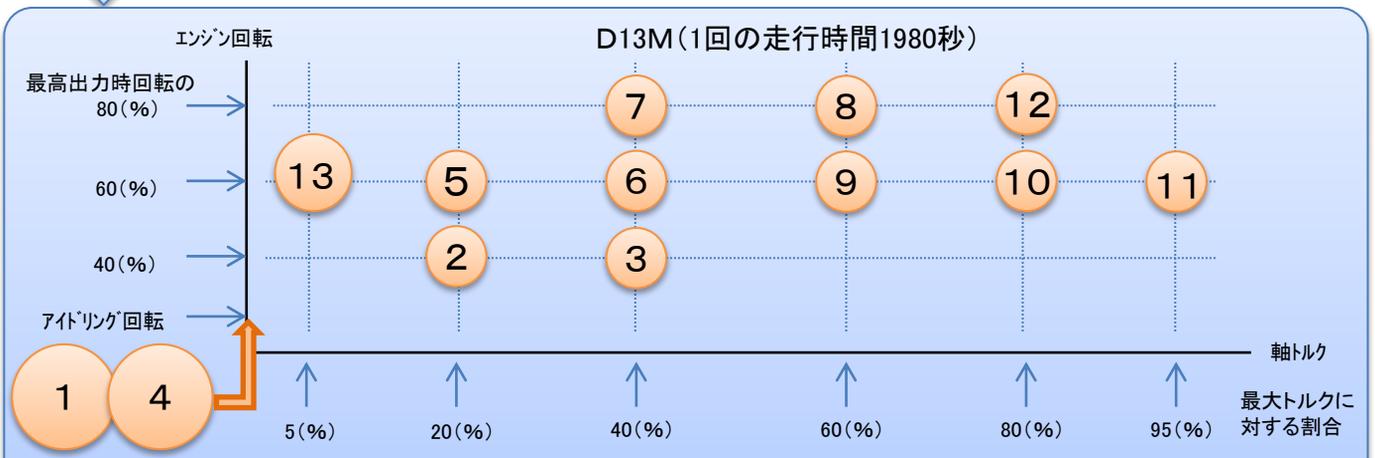


・作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(2日間で60km以上走行します)

《4輪》 10・15モード/11モード(ガソリン車)試験の流れ(平成12年規制以前の規制)



・作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります(2日間で60km以上走行します)



ディーゼル13モードの試験結果は、最高出力時のエンジン回転数の40、60及び80%の回転数とそれぞれの最大トルクの5、20、40、60、80及び95%の負荷を掛け合わせた13種類のモード(1及び4モードは無負荷アイドリング状態)を走行した時のCO、HC、NOx、CO2及びPM(粒子状物質)を積み付け測定し、同時に測定した仕事量で割ることで算出されます

- 車両にかかる負荷が大きいためオーバーヒート等の起らないようエンジン冷却システムの事前整備をお願いします
- 作業時間は試験車両の仕様等により前後する場合があります